

青江コレクションにみる北代遺跡

1 青江清行氏と青江コレクション

青江清行氏は、大正3(1914)年に富山市で生まれました。

旧制富山中学(現在の富山高校)在学中、富山考古学会の初代会長を勤められた早川荘作氏の近所に住んでいたことや、早川氏の長男と同級生であったことから、考古学に興味をもたれました。

富山薬学専門学校を卒業後、会社勤務や管理薬剤師を経て、県内高校の薬学部で教鞭を執る傍ら、休日には寸暇を惜しんで富山県内や岐阜県各地を歩き、地表にあらわれていた考古遺物を採集されました。時には早川氏や富山考古学会の中心メンバーであった栗山邦二氏とも一緒に採集に出かけたそうです。

青江氏は収集した考古遺物が青少年の教育に活用されることを希望されており、平成6年にその遺志を継いだご家族と関係者から、収集遺物と図書類一式が富山市に寄付されました。

収集遺物と図書類は、「青江コレクション」として富山市考古資料館に収蔵・保管され、その一部は北代縄文館や考古資料館の展示に活用されています。

青江コレクションは、土器や石器などの考古遺物4,350点と図書類で構成されます。遺物の採集場所は富山県内31遺跡と岐阜県内12遺跡におよび、遺物には標高約2300mの立山天狗平で採集された石鏃など、富山県の考古学を研究する上で貴重なものが含まれています。遺物の多くには採集地が記録されており、数の多さや種類の豊富さも重要ですが、遺物の採集記録が正確に残されていることが、その資料価値を高めています。

青江コレクションの全容は、山内賢一氏が書かれた「青江清行氏とその収集考古資料について」(平成6年刊行の『大境第16号』に収録)や、『富山市考古資料館報No.27』(平成7年刊行)に「故青江清行氏収蔵考古資料(青江コレクション)の寄贈について」として紹介されています。

今回の展示では、青江コレクションのなかから北代遺跡での採集遺物762点のうち、縄文時代の土器、土製品、石器、石製品、玉類68点を紹介します。

2 展示品について

(1) 縄文土器・土製品

縄文土器は、縄文時代中期中葉から後期の土器があります。中でも、縄文時代中期後葉の串田新Ⅱ式土器が多くを占めます。北代縄文館に常設展示している深鉢にみられる、波状口縁の波頂部を押さえて凹ませた口縁部が特徴です。また、縄文時代後期に普及する土瓶のような形をした注口土器の注口も確認できます。

土製品には、土偶、三角とう型土製品、有孔球状土製品、土玉、不明土製品があります。

土偶は、円形の顔に先の鋭い工具で細長い眼や口を掘り込んでいます。土偶の用途は、神像、おもちゃ、装飾品、地母神、お守り、呪物など様々な説があります。また、土偶は、壊れた状



故青江清行氏

態で出土することが多く、何らかの儀式でわざと壊して廃棄されたと考えられます。

三角とう型土製品は、断面が二等辺三角形の三角柱状の土製品で、各面に太い沈線で四角を描いています。二等辺三角形の短辺の面だけ沈線がなく、その面を底面として置いて使ったと考えられますが、その用途はよくわかっていません。

有孔球状土製品は、球状の土製品の中央に穴が開けられ、沈線や縄文を施したものと無文のものがあります。どれも破損しているため、わざと壊された可能性もあります。

土玉は、丸く整えられた大きさ数cmの玉状土製品の中心に細い穴が開けられています。石製の玉類と同様に装飾品として使われたと考えられます。

不明土製品は、円盤状の土製品に渦巻の文様を描いたものや、楕円形の土製品の中央に溝を施したものがあります。

(2) 石器・石製品

石錐、石匙、石錘、磨製石斧、小型磨製石斧、打製石斧、石刀、石棒、異形石器、トロトロ石器があります。石錐は、上部が幅広のものや細長いものなど様々な形状があり、用途によって使い分けされていたと考えられます。

磨製石斧や打製石斧にはさまざまな石材が使われており、各地から石材を入手していたと考えられます。トロトロ石器は、表面が滑らかなためそう呼ばれます。茎があり石鏃に似た形ですが、その用途は不明です。

(3) 玉類

玉の種類には、勾玉、丸玉、管玉があります。完成品と未成品があることから、北代遺跡の人々は、集落で玉類を製作していたことがわかります。未成品には、穴を開ける途中の痕跡が残っています。(細辻嘉門)

3 展示品目録(○数字は北代縄文館常設展示)

	遺物名		遺物名		遺物名		遺物名
①	縄文土器(中期後葉)	⑱	三角とう型土製品	③⑤	石錐	52	トロトロ石器
2	縄文土器(中期中葉)	⑲	有孔球状土製品	36	石匙	53	石鏃
3	縄文土器(中期中葉)	⑳	有孔球状土製品	37	石錘	54	玉未成品
4	縄文土器(中期後葉)	㉑	有孔球状土製品	38	磨製石斧	55	玉未成品
5	縄文土器(中期後葉)	22	土玉	39	磨製石斧	⑤⑥	玉未成品
6	縄文土器(中期後葉)	23	土玉	40	磨製石斧	57	玉
7	縄文土器(中期後葉)	24	不明土製品	41	小型磨製石斧	58	玉
8	縄文土器底部	25	不明土製品	42	小型磨製石斧	59	玉
9	縄文土器底部	26	不明土製品	43	小型磨製石斧	60	玉
10	縄文土器底部	27	不明土製品	44	小型磨製石斧	61	玉
11	縄文土器注口	28	石錐	45	小型磨製石斧	62	玉
12	縄文土器注口	29	石錐	46	打製石斧	⑥③	玉
13	縄文土器注口	30	石錐	47	打製石斧	⑥④	玉
14	縄文土器把手	31	石錐	48	打製石斧	⑥⑤	玉
15	縄文土器脚部	32	石錐	④⑨	石刀	⑥⑥	玉
⑩⑥	土偶	③③	石錐	⑤⑩	石棒	⑥⑦	玉
⑩⑦	土偶	③④	石錐	51	異形石器	⑥⑧	玉

※今回の展示にあたり、考古資料館の協力を得ました。